

平成 30 年度 P D A 東京都中高一貫校中学校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2019 年 2 月 16 日（土）13:30-17:00

会場：都立富士高等学校附属中学校

参加校：4 校（富士、九段、両国、武蔵）

参加者：生徒 40 名、教員 14 名

スタッフ：PDA スタッフ、東京大学、慶應義塾大学、名古屋大学

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

助成：公益財団法人 日本財団 、公益財団法人 KDDI 財団

本交流大会では各校サッカー部、卓球部、陸上部、茶道部所属など（英語部はいませんでした）、学年は 3 年生から 1 年生のチームまでいろんなバックグラウンドの生徒が不安と期待で会場に集まりました。開会式では、都立富士高等学校附属中学校の佐々木心哉副校長より開会宣言、上野勝敏総括校長から参加生徒へ「選抜を勝ち抜いてきた皆さんのディベートを楽しみにしています。」とエールが送られました。次に、PDA 推進委員長である大賀より、ルールの復習、POI（質疑応答）の確認などが行われました。



上野勝敏総括校長よりご挨拶



元気よく POI !

第 1 ラウンドに入る前に他校の生徒とランダムでチームを組むミックスディベートが行われました。ミックスディベートのお題は「***Convenience stores should be closed late at night.***（コンビニの深夜営業は廃止されるべきだ。）」でした。準備時間は今日初めて会う生徒との準備に緊張した様子でしたが、ディベートが始まると POI をするテーブルが見られるなど活発な議論となりました。



ミックスディベートの準備時間



ミックスディベート ラウンド中



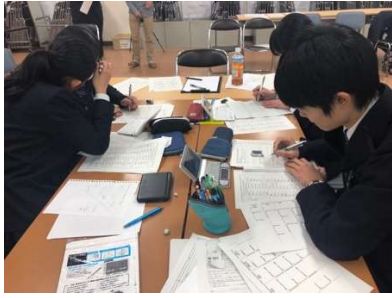
POI !



お互いの健闘を称え握手

ミックスディベートが終わると PDA 推進委員長の大賀より、「スピーチの冒頭に”Hello, everyone.”と言われたら”Hello.” と返しましょう。POI も活発なテーブルもありましたが次はもっとチャレンジしてみましょう。」とコメントがありました。

ミックスディベートが終わるといよいよ第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は、「***The Valentine's Day should be abolished.*** (バレンタインデーをなくすべきである。)」でした。2 日前が 2 月 14 日バレンタインデーだったためか、自分たちの体験談を織り交ぜた準備が行われました。ディベートが始まると、食品ロスが生まれてしまうことや、ホワイトデーにお返しをしなければならず負担になっていること、ほかにも告白するきっかけになるなど様々な議論が行われました。また、ミックスディベートよりも活発な POI が見られ、聞き取れなかったポイントを確認したり、相手の痛いところをつくような質問をしたり、白熱したやりとりが見られました。



準備時間



聴衆の目を見て堂々とスピーチ



積極的に POI !

第1ラウンドが終わるとすぐさま第2ラウンドが始まりました。第2ラウンドのお題は、「***We should prohibit the elderly from driving cars.***（高齢者の自動車運転を禁止すべきである。）」でした。高齢者の自動車運転による事故などの背景から、Government（肯定側）は事故のリスクについて、Opposition（否定側）は高齢者の自動車を運転する権利の必要性・重要性について議論しました。相手の立論を聞き、臨機応変に自分たちの立論や反論に理由を付け足したり、例をたくさん提示したりするなど、第1ラウンドでジャッジの先生から受けたアドバイスを活かそうとする様子が見られました。



準備時間



聴衆を見てスピーチ



ジャッジのコメントにも真剣

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

※エキシビションディベートは実施されませんでした。ジャッジがエキシビションディベートに推薦した生徒を表彰しました。

——（富士 A）、——（武蔵 A）、——（両国 A）、
——（九段 A）、——（九段 A）

〈チーム賞〉

1 位：武蔵 A、2 位：武蔵 B、3 位：富士 A、両国 A



1 位 武蔵 A



2 位 武蔵 B



3 位 富士 A(右)、両国 A(左)

〈ベストディベータ賞〉

_____ (富士 A)、 _____ (富士 B)、 _____ (武蔵 A)
 _____ (武蔵 B)、 _____ (両国 A)、 _____ (両国 B)
 _____ (両国 B)、 _____ (九段 A)、 _____ (九段 B)



〈POI 賞〉

_____ (富士 A)、 _____ (富士 B)、 _____ (武蔵 A)
 _____ (武蔵 B)、 _____ (両国 A)、 _____ (両国 B)
 _____ (両国 B)、 _____ (九段 A)



参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- 他の学校の人たちとのディベートを見ることで自分たちのレベルを確認することができました。今日は見学という形で参加させてもらいましたが、もっと英語やディベートのことを詳しく学んで、ディベートをやってみたいです。【九段】
- 自分の学校でもし、今日のお題でディベートをやったら出てこなかったであろう個性的な意見が多数あって聞いていて面白かった。私は英語が苦手なので、きちんと勉強して早くディベートができるようになれるよう頑張りたいと思います。【九段】
- 今までディベートを行なっていたのは校内だったため、他校と行うことが非常に新鮮に感じられた。また、英単語や文章の作り方などまだまだ自分の知らないような知識を培っていくのはとても楽しかった。さらに、相手校や自校の良い所、悪い所の両方を見つけることができて良かった。これからは自分たちのディベートにも取り入れていきたい。【九段】
- 文法はメチャクチャで発音もうまくななくても、誰かと意見を交換しあうことが楽しかった。15分という短い時間の間で何を考えるべきなのか判断力を鍛える良い機会となった。もっと英語を勉強してまた参加したい。【九段】
- 本当に楽しかったです！！またやりたいです。【両国】
- 今回の体験で自分の刺激になったし、また他校の人ともいろいろな話ができなくて楽しかったです。【両国】
- これまで話したことすらない人たちと交流をし、互いにディベートをできるという貴重な経験ができたし、それぞれの主張を楽しめた。【両国】
- とても楽しかった。またやりたい。練習をさぼってしまったのを後悔した。【両国】
- 少し照れたり物怖じする場面もあったが自ら積極的に話すのが楽しかった！【富士】
- 脳が活性化された気がする。【富士】
- ディベートの論題が出された時のドキドキ感と、英語ディベートの雰囲気を体験できた。【富士】
- とてもとても楽しかったです！ディベート大会に出るのは初めてで緊張しましたが、毎回のディベート後のアドバイスを聞き、どんどん改善して最後のディベートでは楽しく自信を持って話すことができました。ぜひ授業でもやりたいです。【富士】
- 他校の生徒の方とディベートをできたことで自校の中だけは得られない考え方、英語、刺激があってたくさんのことを学べた。改善点もたくさんあって、これからも英語力を高めていきたいと思った。英語で自分の伝えたいことを伝えることが多少はできたと思うので嬉しかったし、英語で高度なコミュニケーションをとって今後の糧にしたい。【武蔵】
- 自分の英語力、論じる力などが他校との交流によって測ることができて凄く有意義で楽しかった。周りの人からの刺激が自分の向上心に直接つながった。凄く良い大会だった。今後もこういった大会が開かれることをのぞんでいます。【武蔵】

- 普段他の学校の人と交流することが無い上に英語で話すことが無いので貴重な体験ができて楽しかった。【武蔵】
- ミックスディベートなどを通して、他校との交流ができたからです。【武蔵】

教員の声

- 生徒にとって他校の生徒との交流は非常に大切な機会だと思う。【両国】
- 今までやっていたディベートとスタイルがかなり異なり興味深かったです。他校との交流やチームワークのタスクをこなすことで生徒たちの成長がこの短期間で見られました。【富士】
- 中学生が関わるととても貴重な大会でした。生徒には刺激となり、教員には交流となり、教育は発展する、素晴らしい大会でした。【九段】
- 議論がかみ合ったときは感動しました。【大泉】
- 生徒がいきいきと意見を述べる姿におどろきました。他校の先生方がされているご指導にとっても刺激を受けました。【大泉】



P01 のポーズで集合写真